



びわこ琵琶湖

再生
目標

昭和 30 年代の湖辺のヨシ群落や内湖の環境を取り戻す



DATA

エリア：琵琶湖国定公園
所在地：滋賀県長浜市、湖北町
着手：H14

琵琶湖湖北地域ヨシ群落 自然再生協議会

概要：湖辺の自然環境、動植物の生息・生育環境を包括的にとらえ、著しく減少しているヨシ群落の再生を検討。

早崎内湖再生計画検討委員会

概要：土地利用の変化に伴い激減した内湖の再生と内湖再生後の維持管理方法を検討。

琵琶湖の湖辺に広がるヨシ群落やかつての内湖は、郷土の原風景であるとともに、動植物の重要な生息・生育環境といえます。また、これらは湖岸の浸食防止や湖辺の水質保全の機能を有するなど、環境保全上重要なものであるともいえます。

しかし、近年の人間活動の拡大や生活様式の

変化等により、琵琶湖の湖辺域では内湖の干拓、ヨシ群落や湖畔林の減少が進み、この結果、生態系が質的・量的に劣化しています。このため、湖辺の自然景観、動植物の生息・生育環境などを包括的にとらえて、美しい琵琶湖を次世代に引き継ぐことを目的とした取組みを進めています。

自然再生の手法

- ▶ 湖北地域におけるヨシ群落の再生→①
- ▶ 早崎内湖の再生→②

琵琶湖のヨシ群落は、生態系として微妙なバランスを保って維持されますが、湖底の土砂移動などにより、ヨシ群落の減少がみられます。琵琶湖の湖北地域（長浜市、湖北町）において、ヨシが有する自然回復力を活かしながら、ヨシ群落の再生を実施しています。

また、昭和 45 年の干拓により 89 ha の農地となった早崎内湖干拓地において、湛水による内湖再生への検討を進めています。

① 突堤、消波堤による湖底の土砂移動の抑制

木杭による突堤、消波堤を設置して、底質の安定化を図ります。



突堤（上）と消波堤（下）

② 早崎内湖干拓地の試験湛水

早崎内湖干拓地の再生を検討するため、平成 13 年 11 月より試験的に 17ha を湛水させ、生態系の回復に関するモニタリングを行っています。現在は、コハクチョウが飛来するなど、動植物の良好な生息・生育場所となりつつあります。



コハクチョウ



早崎内湖干拓地周辺（平成 15 年 8 月）



早崎内湖の変遷（昭和 38～45 年の早崎内湖干拓）

関連ホームページ

琵琶湖湖北地域ヨシ群落自然再生協議会：http://www.pref.shiga.jp/kakuka/d/shizenhogo/yoshi_kyougikai/